

議 長

次に、質問順位 5 番 2 番議員 上田丈二君。

議 長

上田丈二君。

上 田 議 員

通告に従いまして、質問をさせていただきます。

本日は、国民健康保険料の問題点について、伺いたいと思います

去年の暮れに、皆さんの声をまちづくりにいかしますとして個人的に町民の方に、アンケートの調査協力をお願いいたしました。

この中で、暮らしを良くするために何を望まれますかという問いかけを致しましたが、この問いの中で町民の方が一番多く望まれていたのが、国民健康保険料を引き下げてほしいというご意見でした。

アンケート調査にご協力いただいた方は、国保の加入者の方が多かった事もあるのですが、国民健康保険料は、必要でありがたいと思っておりますが、少し高すぎると考えている町民の方が多くおられました。

この和木町の保険料ですが、まず、山口県の保険料は近県の 5 県、山口、広島、岡山、鳥取、島根県の中でも、一番高い保険料になっております。そして山口県の自治体の中で、3 番目に高いのが和木町になっております。ですので、和木町の国民健康保険料はかなり高い方になっております。

和木町の行政も頑張って、高くないように努力をされておりますが、県に管理が移行したことにより基金からしか、繰り入れができず、保険料を引き下げる事が難しくなっています。

お隣の岩国市では、5 年の計画をたてて一般会計からの繰り入れを無くす計画を、県に出しておりますが、私たちのこの和木町でも、財政の中より一般会計から基金への繰り入れをすることで、保険料を引き下げる事は、できないのでしょうか、お尋ねいたします。

議 長 保健福祉課長。

森 本 保 健 国保会計は、一般会計と別の会計を設けております。この会
福 祉 課 長 計内で歳出、歳入を完結させる事が原則となっております。

そのため、一般会計からの繰入は、人件費など法律上のルールに基づくもの以外の繰入はできないこととなっております。

今年度より、県単一化になったため、県は、赤字が出た場合には、県の貸付制度を利用して対応し、安定的な財政運営を行なうよう指導しております。

しかしながら、県が示した標準保険料が高かったため、国保会計における財政調整基金約 2,000 万弱の積み立てを行ない、保険料の激減緩和措置に取り組みました。また、今回の補正予算の議案で提出させていただきましたが、今年度の決算見込において約 2,800 万の積み立てができる予定となっております。

来年度以降の国保会計の財政調整基金約 5,000 万円弱を活用いたしまして、保険料の引き下げは難しいにしても、急激に保険料を上げることのないようにしていきたいと考えております。

議 長 上田丈二君。

上 田 議 員 今お聞きしまして、町でも努力して来年も引き下げる事は出来ないけれども現状維持は保つ事は努力していくということでしたけれども、無理をして財政危機を招くことは私も望ましいとは思ってはおりませんが、ですがこの基金を取り崩して行くとこのままでは国民健康保険料は少しずつ高くなり続けていくことになりまして、基金が無くなればとても高い負担を加入者の方は強いられる事になります。そしてこの保険料が高くなればなるほど、低所得者、年金生活者、子育て世代にとって生活そのものが危機的な状況となります。

この理由には、保険料の中には所得割、均等割、平等割と 3 つの計算よりなっておりますが、加入者に扶養家族がいれば、

平成 31 年第 2 回(3 月)定例会

均等割の計算のなかで、扶養家族の人数分が加算されて保険料が高くなります。決まった所得の中から、多くの出費がかさむ事で子育て世代や、年金生活の高齢者夫妻の生活に高い負担を強いることになっております。

やはり、少しでも保険料を低くすることが必要だと思っています。

この和木町が、山口県の中でも高い保険料になっている理由には何があるのでしょうか。お尋ねします。

議 長 森本保健福祉課長。

森本保健福祉課長 主な要因といたしまして被保険者数、医療費、所得があります。国民健康保険の被保険者数は、5年前と比較すると約200人減少しております。医療費については、乱高下は、ございますが、一人当たりの医療費は、過去5年の中では、今年度が一番高くなっております。入院や手術等の高額な医療費が掛かったものと推測しております。また被保険者の平均所得が山口県平均より高くなっていることが考えられます。

議 長 上田丈二君。

上田議員 理由には加入者が少なくなっている事、他の自治体と比べて医療費が高かった事、そして和木町の保険加入者の所得が他の自治体よりも高かったことが挙げられておりますが、どのぐらい他の自治体より所得が多かったのでしょうか。

議 長 森本保健福祉課長。

森本保健福祉課長 本町の所得ですが、山口県一人当たりの平均所得額と和木町一人当たりの平均所得額を比べてみますと、約8万円本町の方が高くなっております。医療費についても同様に、約3万円ぐらい本町の方が高くなっております。

議 長 上田丈二君。

上 田 議 員 和木町の保険料が高い理由については理解いたしましたが、この保険料が元々高くなっている原因は、国からの国庫負担金が 45%だったものが 25%に削減されたことにあります。

この保険料を安くするためには、国に国庫負担金を増やしてもらう事、また県の福祉事業費の予算を増やし、国民健康保険料の料率を低くしてもらわなければ、町の財源だけでは、国民健康保険料を安くすることは難しいのだと改めて感じました。

ぜひ、町から国や県に対しまして国庫負担金の増額の要求を出し続けて頂きたいと思います。

ですが、町としても何らかの対策をしなければならないと思います。

町がこの 3つの理由の中で対処できるのは、医療費を増やさないことだと思いますが、町では現在どのような政策を取っているのでしょうか。お尋ねいたします。

議 長 森本保健福祉課長。

森 本 保 健 福 祉 課 長 医療費を抑制する対策の 1つとして、特定健診を推進し、早期発見、早期治療することで高額な医療費が少しでも抑えられること。また医療費通知やジェネリック薬品の推奨、更に来年度は特定健診の個人負担 1,000 円を無料化する予定としており、受診率アップに繋がればと思っております。また、メッツやまるとに特定保健指導を委託して、重症化予防にも努めております。

議 長 上田丈二君。

上 田 議 員 治療費が高くならないように様々なことを行っているのはよくわかりました。早期発見、早期治療により高額医療や治療費が増えない対処のために、特定健診の無料化にさせていただくのは喜ばしいことだと思います。ぜひ実施していただいて、加

平成 31 年第 2 回(3 月)定例会

入者の多くの方に知ってもらうことにより、受診率を上げていただきたいと思います。

この他に、医療費をおさえるには、健康寿命を延ばすことも重要だと思います。町民の多くの方より、和木町には、「健康施設がない。公園には器具も置いていないし、体育館にもない。また、グランドゴルフなど手軽に親しんで健康になりたいが、やるところがない。蜂ヶ峯や遠くまで行くにも、免許を返したら交通機関の手段がない。」という声をよくお聞きします。

和木町の健康施設に関してまた、住民の健康寿命をのぼす健康対策の考えを教えてくださいと思います。

議 長 森本保健福祉課長。

森本保健福祉課長 前の質問でお答えした特定健診の推奨に加え、保健相談センターではがん健診、健康相談業務、元気アップ教室として、運動編、食事編、心の健康編、健康づくり講演会、自分の体の測定会を定期的を実施しております。また地域包括支援センターが実施する介護予防講演会、支援している各地のサロンなど、それぞれが行います各種事業において、多くの方が参加出来るよう、広報等で周知を図り、少しでも健康づくりへのきっかけとなるよう努力して参りたいと考えております。その結果、住み慣れた地域で元気に生活することで、医療費の抑制、健康寿命の延びにつながればと思っております。

体育館、公園などへの健康器具設置については、現在のところ考えておりませんが、グランドゴルフが日中行えるグランドをつくることは非常に困難だと考えております。トレーニングジムにつきましては体育センターの建て替えの時期に検討する予定としておりますのでご理解をお願い致します。

議 長 上田丈二君。

上田議員 町でも様々な事業や計画を実施して、町民の健康や体力づくりに力を入れているとよくわかりました。また、和木町の体育

平成 31 年第 2 回(3 月)定例会

協会を中心としたスポーツも行われているようです。町民の方によく理解して知っていただいて、健康や体力づくりに利用していただき、健康寿命を延ばしていくよう努力していただくことも重要だと思います。ですが、体育館の新設までにはまだ長い時間がかかります。和木町内には、誰でも気軽に運動や体力づくり、強いて言えば、先程申しましたグランドゴルフなどを楽しめる施設がないのですから、今の体育館やコミセン、公園などに、健康器具の設置や利用することも、検討していただければと思います。町民の方々が運動や体力づくりを楽しんでもらいながら、健康寿命を延ばし、医療費の削減に繋がる政策の検討をしていただく事により、少しでも国民健康保険料の料金が下がる事を切望致しまして質問を終わらせていただきます。

議

長

再質問がございませんので、以上で上田丈二君の一般質問を終わります。